

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成 18 年 4 月 13 日 (2006.4.13)

【公開番号】特開 2002-28325 (P2002-28325A)
 【公開日】平成 14 年 1 月 29 日 (2002.1.29)
 【出願番号】特願 2000-217829 (P2000-217829)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F	7/02	3 2 4 D
A 6 3 F	7/02	3 2 4 Z
A 6 3 F	7/02	3 0 4 Z
A 6 3 F	7/02	3 3 4

【手続補正書】
 【提出日】平成 18 年 2 月 20 日 (2006.2.20)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】特許請求の範囲
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

遊技盤上に打ち出された球が、前記遊技盤上に配置された複数の入賞装置のうちのいずれかへ入賞したことに基づいて賞品球を払い出す遊技機であって、1 つの球の入賞に対して払い出される賞品球の数が異なる複数種類の入賞装置を有するものにおいて、

未処理球管理手段と、賞品球払出手段とを備え、

前記複数の入賞装置を、1 つの球の入賞に対して払い出す賞品球数の違いに基づいてグループ分けし、

前記未処理球管理手段は、前記入賞装置へ入賞した球のうち入賞に対する賞品球の払い出し処理を終えていないものの数を表す未処理球数を前記グループ毎に管理し記憶するものであり、

前記賞品球払出手段は、賞品球の払い出しを前記グループ毎に行い、

前記 1 つの球の入賞に対して払い出す賞品球の数が多い入賞装置の属するグループほど優先順位を高く設定し、

少なくとも未払いの賞品球についての記憶情報を停電時に保持するためのバックアップ電源を有することを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

遊技盤上に打ち出された球が、前記遊技盤上に配置された複数の入賞装置のうちのいずれかへ入賞したことに基づいて賞品球を払い出す遊技機であって、1 つの球の入賞に対して払い出される賞品球の数が異なる複数種類の入賞装置を有するものにおいて、

未処理球管理手段と、賞品球払出手段とを備え、

前記複数の入賞装置を、1 つの球の入賞に対して払い出す賞品球数の違いに基づいてグループ分けし、

前記未処理球管理手段は、前記入賞装置へ入賞した球のうち入賞に対する賞品球の払い出し処理を終えていないものの数を表す未処理球数を前記グループ毎に管理し記憶するものであり、

前記賞品球払出手段は、前記グループ相互間の予め定めた優先順位に従って賞品球の払い出しをグループ毎に行い、

前記 1 つの球の入賞に対して払い出す賞品球の数が多い入賞装置の属するグループほど優先順位を高く設定し、

少なくとも未払いの賞品球についての記憶情報を停電時に保持するためのバックアップ電源を有することを特徴とする遊技機。

【請求項 3】

遊技盤上に打ち出された球が、前記遊技盤上に配置された複数の入賞装置のうちのいずれかへ入賞したことに基づいて賞品球を払い出す遊技機であって、1 つの球の入賞に対して払い出される賞品球の数が異なる複数種類の入賞装置を有するものにおいて、

未処理球管理手段と、賞品球払出手段とを備え、

前記複数の入賞装置を、1 つの球の入賞に対して払い出す賞品球数の違いに基づいてグループ分けし、

前記未処理球管理手段は、前記入賞装置へ入賞した球のうち入賞に対する賞品球の払い出し処理を終えていないものの数を表す未処理球数を前記グループ毎に管理し記憶するものであり、

前記賞品球払出手段は、前記グループ相互間の予め定めた優先順位に従って賞品球の払い出しをグループ毎に行うとともに、1 つのグループの払い出し処理をそのグループの未処理球数がなくなるまで継続して行い、

前記 1 つの球の入賞に対して払い出す賞品球の数が多い入賞装置の属するグループほど優先順位を高く設定し、

少なくとも未払いの賞品球についての記憶情報を停電時に保持するためのバックアップ電源を有することを特徴とする遊技機。

【請求項 4】

前記未処理球数を前記グループ毎に表示する未処理球数表示手段を有することを特徴とする請求項 1、2 または 3 に記載の遊技機。

【請求項 5】

今回払い出された賞品球がどのグループに属する入賞装置への球の入賞に対応したものであるかを遊技者に通知するグループ別通知手段を有することを特徴とする請求項 1、2、3 または 4 に記載の遊技機。

【請求項 6】

停電してから所定時間が経過したとき前記バックアップ電源を断にする時限装置を設けたことを特徴とする請求項 1、2 または 3 に記載の遊技機。

【請求項 7】

予め設定した時刻が停電後に到来したとき前記バックアップ電源を断にする時限装置を設けたことを特徴とする請求項 1、2 または 3 に記載の遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 8】

【課題を解決するための手段】

かかる目的を達成するための本発明の要旨とするところは、次の各項の発明に存する。

[1] 遊技盤上に打ち出された球が、前記遊技盤上に配置された複数の入賞装置（4 0、5 0、7 1～7 7）のうちのいずれかへ入賞したことに基づいて賞品球を払い出す遊技機であって、1 つの球の入賞に対して払い出される賞品球の数が異なる複数種類の入賞装置（4 0、5 0、7 1～7 7）を有するものにおいて、

未処理球管理手段（1 4 0）と、賞品球払出手段（1 5 0）とを備え、

前記複数の入賞装置（4 0、5 0、7 1～7 7）を、1 つの球の入賞に対して払い出す賞品球数の違いに基づいてグループ分けし、

前記未処理球管理手段（1 4 0）は、前記入賞装置（4 0、5 0、7 1～7 7）へ入賞

した球のうち入賞に対する賞品球の払い出し処理を終えていないものの数を表す未処理球数を前記グループ毎に管理し記憶するものであり、

前記賞品球払出手段（１５０）は、賞品球の払い出しを前記グループ毎に行い、

前記１つの球の入賞に対して払い出す賞品球の数が多い入賞装置の属するグループほど優先順位を高く設定し、

少なくとも未払いの賞品球についての記憶情報を停電時に保持するためのバックアップ電源（１３０）を有することを特徴とする遊技機。

【手続補正３】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１９

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１９】

[２] 遊技盤上に打ち出された球が、前記遊技盤上に配置された複数の入賞装置（４０、５０、７１～７７）のうちのいずれかへ入賞したことに基づいて賞品球を払い出す遊技機であって、１つの球の入賞に対して払い出される賞品球の数異なる複数種類の入賞装置（４０、５０、７１～７７）を有するものにおいて、

未処理球管理手段（１４０）と、賞品球払出手段（１５０）とを備え、

前記複数の入賞装置（４０、５０、７１～７７）を、１つの球の入賞に対して払い出す賞品球数の違いに基づいてグループ分けし、

前記未処理球管理手段（１４０）は、前記入賞装置（４０、５０、７１～７７）へ入賞した球のうち入賞に対する賞品球の払い出し処理を終えていないものの数を表す未処理球数を前記グループ毎に管理し記憶するものであり、

前記賞品球払出手段（１５０）は、前記グループ相互間の予め定めた優先順位に従って賞品球の払い出しをグループ毎に行い、

前記１つの球の入賞に対して払い出す賞品球の数が多い入賞装置の属するグループほど優先順位を高く設定し、

少なくとも未払いの賞品球についての記憶情報を停電時に保持するためのバックアップ電源（１３０）を有することを特徴とする遊技機。

【手続補正４】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００２０

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００２０】

[３] 遊技盤上に打ち出された球が、前記遊技盤上に配置された複数の入賞装置（４０、５０、７１～７７）のうちのいずれかへ入賞したことに基づいて賞品球を払い出す遊技機であって、１つの球の入賞に対して払い出される賞品球の数異なる複数種類の入賞装置（４０、５０、７１～７７）を有するものにおいて、

未処理球管理手段（１４０）と、賞品球払出手段（１５０）とを備え、

前記複数の入賞装置（４０、５０、７１～７７）を、１つの球の入賞に対して払い出す賞品球数の違いに基づいてグループ分けし、

前記未処理球管理手段（１４０）は、前記入賞装置（４０、５０、７１～７７）へ入賞した球のうち入賞に対する賞品球の払い出し処理を終えていないものの数を表す未処理球数を前記グループ毎に管理し記憶するものであり、

前記賞品球払出手段（１５０）は、前記グループ相互間の予め定めた優先順位に従って賞品球の払い出しをグループ毎に行うとともに、１つのグループの払い出し処理をそのグループの未処理球数がなくなるまで継続して行い、

前記１つの球の入賞に対して払い出す賞品球の数が多い入賞装置の属するグループほど優先順位を高く設定し、

少なくとも未払いの賞品球についての記憶情報を停電時に保持するためのバックアップ電源（１３０）を有することを特徴とする遊技機。

【手続補正５】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００２１

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００２１】

[４] 前記未処理球数を前記グループ毎に表示する未処理球数表示手段（１６０、３１～３３）を有することを特徴とする〔１〕、〔２〕または〔３〕に記載の遊技機。

【手続補正６】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００２２

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００２２】

[５] 今回払い出された賞品球がどのグループに属する入賞装置（４０、５０、７１～７７）への球の入賞に対応したものであるかを遊技者に通知するグループ別通知手段を有することを特徴とする〔１〕、〔２〕、〔３〕または〔４〕に記載の遊技機。

【手続補正７】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００２３

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００２３】

[６] 停電してから所定時間が経過したとき前記バックアップ電源（１３０）を断にする時限装置（１３８）を設けたことを特徴とする〔１〕、〔２〕または〔３〕に記載の遊技機。

【手続補正８】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００２４

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００２４】

[７] 予め設定した時刻が停電後に到来したとき前記バックアップ電源（１３０）を断にする時限装置（１３８）を設けたことを特徴とする〔１〕、〔２〕または〔３〕に記載の遊技機。

【手続補正９】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００２５

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正１０】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００２６

【補正方法】削除

【補正の内容】